

「社会・地理歴史科教育法」における新聞活用

太田 正行

1 はじめに

筆者は、高等学校の社会科教員時代から現在まで授業で新聞を教材として活用してきた。新聞は、中学校・高等学校の社会科・地理歴史科・公民科の授業では教材の一つであるが、大学の教職課程「社会科教育法」の授業では、新聞記事を活用した授業を構想するなど活用法はおのずと異なる。

さて、高等学校学習指導要領「地理歴史」¹「公民」²の「各科目にわたる内容の取扱い」では、「情報を主体的に活用する学習活動」のため、「新聞・・・を収集・選択し、それらを読み取り解釈すること」を挙げている。また、中学校学習指導要領「社会」³でも「新聞・・・に平素から親しみ適切に活用すること」と記されている。

本稿では、「社会・地理歴史科教育法」において実践した新聞活用の授業を紹介する。

2 大学生の新聞との接触

大学生は新聞をどの程度読んでいるのか、立教大学をはじめ筆者が出講している6大学で「社会科教育法」を受講している学生102名を対象にアンケート調査を実施した。その結果によると、「普段どれくらいの時間、新聞を読むか」には、「まったく読まない」が75%、15分程度が20%であった。なぜ読まないのか？新聞以外のメディアで情報を得ている人のうち、スマホ95%、テレビ66%との回答であった。この

ほか「価格が高い」32%、「読む時間がない」20%であった。「価格が高い」との回答は自宅外通学の学生が多かった。

それでは、他の年齢を含めた調査結果をNHK「国民生活時間調査」⁴で見てみよう。この調査は5年ごとに実施されており、最新は2015年10月に実施したものである。これによると、新聞（電子版も含む）を読んでいる人の割合は、1995年から2015年まで一貫して減少が続いている、平日に新聞を読む割合（カッコ内は1995年）は、10代男子4%（14%）、女子3%（13%）、20代男子8%（32%）、女子3%（32%）であった。一方、50代男子38%（74%）、女子40%（66%）、60代男子53%（77%）、女子56%（64%）であった。すべての年代で読む割合は減っているが、10～20代の若者が新聞を読まなくなっていることが分かる。特にこの5年間の減少幅が大きい。

なお、大学生だけについては、「慶應塾生新聞」が2009年に実施した慶應義塾大学学部生460名を対象に実施した「新聞利用の実態」⁵では、「まったく読まない」が3割、新聞以外に利用するメディアでは、テレビが最も多く、パソコン、携帯を合わせてインターネット利用が過半数になる。また、「読む時間がない」「価格が高い」という回答も多かった。この10年近くの間に新聞を読まない学生が急増していること、スマホの普及によりネット利用が急増していること

が分かる。

それでは、大学生は新聞を読まないが、本は読んでいるのか、読書時間では、0分が49.1%、読む学生は1日平均48.6分である。予習・復習・論文など大学の勉強時間は1日52.8分となっている一方、スマートフォンの1日平均利用時間は161.5分、利用時間ゼロは1.3%で大学生の「スマホ漬け」の現状が分かる⁶。

3 新聞教材の活用

以上のような大学生の現状を踏まえ、「社会・地理歴史科教育法」の授業ではできるだけ多くの新聞記事を印刷し教室で配布、学生に新聞を読む機会を与えること、新聞記事を教材とした模擬授業づくりを行うことを目的とした実践を行ってきた。

(1) 時事問題

これは、高等学校の教員時代から継続して行ってきた実践だが、1カ月間に起こった主な

出来事、時事問題を振り返り整理することが目的である。読売新聞は、毎月4日朝刊で「NEWS月録」という記事を掲載している。これは、前月1カ月間に起こった主な出来事を、政治、国際、スポーツ、経済、社会の各分野に分類し簡単に解説している記事である。これを読むことで、1カ月間に起こった時事問題を一覧することができる。さらに、その裏面には、当月に関連する新聞の解説記事を印刷する。こちらは、主に朝日新聞の「いちからわかる」を活用する。この解説記事は中学生や高校生が読んでも理解できるようやさしく書かれたもので、なじみやすい会話調で書かれている。記事の内容は、社会科関係と教育関係の解説記事をピックアップする。教室で配布時に、時間があれば簡単に解説することにしている。以下に2017年4月から12月の記事の内容をまとめた。

新聞日付（読売新聞）	読売新聞「NEWS月録」	朝日新聞「いちからわかる」などの解説記事
2017.4.4（3.1～3.31）	朴大統領、罷免 WH、破産法申請 雪崩で高校生ら8人死亡	欧州統合の挑戦 60年 これからどうなるの？（3.30） 国会の証人喚問 うその証言をしたら？（4.1）
2017.5.4（4.1～4.30）	今村復興相を更迭 米、シリア軍攻撃 貿易黒字6年ぶり	小中教諭11時間超勤務（4.28） 「学校の評判落とせない」地毛証明書（5.1）
2017.6.4（5.1～5.31）	韓国大統領に文氏就任 トヨタ5年ぶり減収減益	大学ごとのAO・推薦学力試験も必要なの？（5.17） 変わる入試 不安な高校「センター後継実施案公表」（5.17） 池上彰の新聞ななめ読み フランス「第5共和制」専門用語丁寧に解説を（4.28）

2017.7.4 (6.1 ~ 6.30)	テロ準備罪法が成立 タカタ、民事再生申請	総会なくし設置検討 町村総会とは？ (6.28) 香港返還から 20 年 中国との関係は？ (6.29)
2017.8.4 (7.1 ~ 7.31)	都議選都民ファ第 1 党に 蓮舫代表が辞任表明	百舌鳥・古市古墳群 世界遺産の候補じゃな (8.2) 「残業代ゼロ法案」どんな制度なの？ (7.28)
2017.9.4 (8.1 ~ 8.31)	北ミサイル日本通過	全国学力調査結果が発表されたね (8.29) 国の予算 どうやってつくるの？ (8.26)
2017.10.4 (9.1 ~ 9.30)	北朝鮮が 6 回目の核実験 衆院解散、総選挙へ 東芝、「日米韓」と契約	衆議院が解散どんなしくみの？ (9.30) 解散 明大生はどう見る「憲法を学ぶ学生にアンケート」 (9.28)
2017.11.4 (10.1 ~ 10.31)	衆院選、自民が圧勝 神戸製鋼データ改ざん	カタルーニャ自治州なぜ独立したいんじゃ？ (10.3) 学校のいじめ把握 10 万件も増えたの？ (10.27)
2017.12.4 (11.1 ~ 11.30)	トランプ大統領来日 東芝 6000 億円を増資	ロシア革命 100 年何があったんじゃ？ (11.8) 教員の勤務時間上限提示へ (11.29)

このほか、読売新聞は年末にこの 1 年間の出来事から、「読者が選んだ 10 大ニュース」で「日本」を 12 月 23 日及び「海外」を 24 日に掲載している。これも配布しているが、その際、この 5 年間の国内、海外の 3 大ニュースも合わせて掲載し振り返ることにしている。

(2) 歴史関連の新聞記事

高等学校「日本史」「世界史」の授業では、教科書や図録などを教材として「穴埋めプリント」などを使用して授業を行うことが多いが、歴史関連の新聞記事を教材研究のための資料や生徒配布用教材として活用することが考えられ

る。歴史関連の記事は、社会面と文化面に掲載される。とくに、朝日新聞土曜日朝刊に掲載される「～の歴史学」は、政治や経済などでなく、当時のふつうの人々の日常生活に関わるテーマを分かりやすく紹介しており、授業中に生徒に興味・関心を持たせる豆知識として話す材料にもなる。また、文化面に日曜日に掲載される「文化の扉 歴史編」では、「異説あり」という教科書の記述など一般に考えられている説と異なる考え方が紹介されている。歴史を別の視点から考える材料にもなる。

①「〇〇の～の歴史学」

◎丸山裕美子の表裏の歴史学(2015年10月17日～)

古代:戸籍、移民・難民、夫婦別姓、勤務評定、長寿、食事、休暇願、働く女性、太上天皇、履歴書、希少動物、紙、カレンダー、ハンコ

◎佐多芳彦の服装の歴史学(2015年10月24日～)

古代:束帯、冠直衣、直垂、肩衣、胴服、小袖、色彩、衣服、雨具、扇、更衣

◎山室恭子の商魂の歴史学(2015年2月7日～2017年3月18日)

江戸:湯屋、人口密度、商人、古着屋・外食店、贅沢品、薬と病、牢屋事情、火事事情、油屋事情、物流事情、お茶事情、砂糖商い、材木問屋、商人の名前、水害救助と支援、火災リスク、安政の大地震、名前のパターン、武家人口、商人の格差

◎千葉真由美の村人の歴史学(2017年4月15日～)

仕事と家庭の両立、女性当主、名主、酒盛、家業相続、押印、婚姻、家の維持

◎呉座勇一の交流の歴史学(2015年4月11日～)

中世:接待、贈答、ものまね、旅行、花まつり、こどもの日、見物、武将の出向、おもてなし、引越、自慢話、悪口、人生相談、対談

②「文化の扉」(朝日新聞文化面)

文化の扉 歴史編「本当に英雄?アレクサンドロス大王」(2012年12月3日)

文化の扉 歴史編「人種差別主義者だった?リンカーン」(2013年5月13日)

文化の扉 歴史編「虐殺者だった?コロンブス」(2014年3月3日)

文化の扉 歴史編「悪僧じゃなかった?道鏡」(2014年5月5日)

文化の扉 歴史編「犬好きじゃなかった?徳川綱吉」(2014年7月21日)

文化の扉 歴史編「美男子だった?リチャード3世」(2014年11月17日)

文化の扉 歴史編「いいがかりつけていなかった?徳川家康」(2015年1月12日)

文化の扉 「はじめての憲法」(2015年5月3日)

文化の扉 「はじめての銅鐸」(2015年7月26日)

文化の扉 「はじめての古代祭祀」(2015年9月6日)

文化の扉 「はじめての弥生時代」(2016年1月24日)

文化の扉 「法隆寺 注目の謎」(2016年4月17日)

文化の扉 「キリシタン大名の真意」(2016年4月24日)

科学の扉 「日本人 いつどこから」(2016年6月26日)

文化の扉 「ローマ法王の挑戦」(2016年7月17日)

文化の扉 「浮世絵 庶民の楽しみ」(2016年8月28日)

文化の扉 歴史編「異説あり 薩長同盟」(2016年9月4日)

文化の扉 「謎多き芸術 洞窟壁画」(2016年9月18日)

文化の扉 「古代日本 女帝の時代」(2016年9月25日)

文化の扉 歴史編「異説あり 黒船来航」(2016年11月6日)

文化の扉 歴史編「異説あり モンゴル襲来」
(2017年1月8日)

文化の扉 歴史編「戦国大名と天下」(2017年
2月5日)

文化の扉 歴史編「異説あり 遣隋使 いつか
ら」(2017年3月5日)

文化の扉 歴史編「異説あり 仏教受容めぐる
論争」(2017年4月9日)

文化の扉 「国宝 選ばれし文化財」(2017年4
月30日)

文化の扉 歴史編「異説あり 応仁の乱の原因」
(2017年5月7日)

文化の扉 歴史編「異説あり 信長の『野望』」
(2017年6月4日)

文化の扉 歴史編「異説あり 西郷隆盛=征韓
論者」(2017年7月2日)

文化の扉 歴史編「異説あり 関ヶ原 創作だ
らけ？」(2017年8月6日)

文化の扉 歴史編「異説あり 松陰 過激な革
命家」(2017年9月10日)

文化の扉 歴史編「異説あり 国宝『金印』は
本物？」(2017年10月22日)

文化の扉 歴史編「異説あり 『天草四郎』は
幻か」(2017年11月12日)

文化の扉 「お肉 分厚い魅力 肉食のあゆみ」
(2017年11月19日)

文化の扉 歴史編「異説あり 陸墓に眠るのは
誰？」(2017年11月26日)

文化の扉 歴史編「異説あり 忠臣蔵と赤穂事
件」(2017年12月10日)

③「文化・社会面」(朝日新聞)

「会ってみたい歴史上の女性は？」(2014年9
月13日)

「中国の三角縁神獣鏡 真贋は？」(2016年3
月31日)

「旧石器時代人 変わる記述 『明石原人』は弥
生人？」(2017年2月17日)

「おいしい時間旅行 各地で『歴食』縄文～幕
末 昔の料理再現」(2017年2月21日)

「親鸞 教科書記述に変化」(2017年3月17日)

「秀吉から茶々へ 愛の手紙」(2017年7月8日)

「旧石器時代 日本人の顔に迫る」(2017年10
月19日)

「我こそは尊氏かな 中世の肖像画 写し発見」
(2017年10月27日)

「歴史の中の天皇 『時代で移ろう 皇室女性の
人生』」(2017年11月2日)

「世界揺るがした社会主義 ロシア革命100年」
(2017年11月4日)

「異議あり 時代区分を見直す中世史家 保立
道久さん」(2017年11月9日)

「奈良と京都、訪れたいのはどっち？」(2017
年12月16日)

(3) 教育関連記事(朝日新聞)

受講生は、中学校「社会」と高等学校「地理
歴史」「公民」の教員免許取得を目指しているが、
教員として就職する者は極めて少数である。し
かし、現在話題となっている学校教育に関する
情報に触れることは重要である。とくに、社会
科教育、歴史教育、公民教育に関する新聞記事
をできるだけ多く紹介してきた。歴史教育に関
する記事は、受講生の大半が文学部史学科の学
生であることもあり、大変興味をもって読んで
いた。

「自分で考え投票を 高校で主権者教育」(2016
年7月9日)

「新指導要領 審議のまとめどう見る アクティブ・ラーニングの視点・評価を一体化」(2016年11月17日)

「『真珠湾』考える教室 追悼施設見学・グループ討論 ハワイの高校生ら」(2016年12月24日)

「主体的・対話的な授業」手探り ベネッセ教員調査 (2017年3月26日)

「2017年衆院選『高校生、リアルに選挙学習』」(2017年10月7日)

「中高生読解力ピンチ」教科書レベルの文章理解できず (2017年11月7日)

「過労死ライン」週60時間超 公立中教員68.2% 都教委調査 (2017年11月11日)

「高校教科書から消える？脱暗記へ『用語半減を』執筆者に提言」(2017年11月14日)

「龍馬を教科書から消すなんて」(2017年11月18日「声」)

「暗記だけの歴史は卒業しよう」(2017年11月23日「声」)

「歴史『覚える』から『考える』へ 高校教科書 用語の精選案提言」(2017年12月2日)

「脱・暗記 考える大学入試 共通テスト試行調査問題公表」(2017年12月5日)

「今の授業じゃ解けない 共通テスト試行調査 面食らう生徒 対策悩む教員」(同上)

(4) 大学生や大学に関する記事（朝日新聞）

受講生は大学生であり、立教大学の学生である。大学生に関する記事や立教大学が紹介された記事は身近であり、新聞を読む意欲を高めることができると思い紹介している。

「1コマ100分のびる大学授業 年間コマ数は減 留学・就業体験に」(2017年5月16日)

「大学生のリスクすぐそこに 自由な生活の背後に飲酒・ドラッグ・悪徳商法」(2017年6月24日)

「いまどき大学生の懐事情 生活実態調査」(2017年6月26日)

*立教大学関連記事

「学んでほしい母校のこと 自校の歴史大学が授業」(2012年10月12日)

「キリスト教主義維持に腐心 大規模化する大学 薄れる宗教色」(2016年5月14日)

「こどもの未来へ 大学の挑戦『立教大』訓練で育むリーダーシップ」(2016年8月6日)

「又吉直樹のいつか見る風景 旧江戸川乱歩邸」(2017年7月1日)

(5) 「模擬授業」における新聞記事の活用

筆者は、1人30分の模擬授業を学生に課しているが、その指導計画に新聞記事を教材として活用するよう指導している。秋学期には、以下のような新聞記事を活用した模擬授業が行われた。多くの模擬授業では導入で活用されたが、展開の説明の際に教材として活用された事例もあった。

校種・教科科目・分野	テーマ	新聞記事
高校「世界史B」	西欧中世世界の変容	「独立投票阻止スペイン強権カタルーニャ自治州」2017.9.22 読売
高校「日本史B」	自由民権運動	「板垣退助生誕記念 節目の年 民権の力 新国家に」2017.4.29 朝日高知
高校「日本史B」	白村江の戦い	「『水城』平安期まで機能 太宰府の表玄関として使用」2009.7.10 読売
中学校「歴史的分野」	沖縄戦	「オスプレイ届かぬ反対」2017.10.1 朝日西部「普天間『今なお危険そばに』」2017.8.14 朝日西部
高校「日本史B」	院政	生前退位「実現には『三つの懸念』」2016.9.9 読売
高校「日本史B」	律令国家	「古代都市街並み評価 太宰府、日本遺産に認定」2015.4.25 朝日福岡
中学校「歴史的分野」	第一次世界大戦	「世界揺るがした社会主義 ロシア革命 100年」2017.11.4 朝日「あのときそれから 第1次世界大戦」2014.5.24 朝日夕刊
高校「日本史B」	太平洋戦争	ザ・コラム「ペンを銃に換えて 戦争に聖域はなかった」2017.11.9 朝日
高校「世界史B」	大航海時代	「『南蛮菓子』で観光振興」2012.1.25 読売長崎
高校「世界史A」	第一次世界大戦	「魯迅の教室登録文化財に 東北大の建造物5棟など」2017.7.22 読売宮城
高校「日本史B」	藤原氏の進出と政界の動揺	「幻の寺 道鏡の野望」2017.2.10 読売
高校「世界史B」	英国教会とカトリック	「法王と英女王初の公式会談」2010.9.17 読売
高校「日本史B」	江戸時代初期の国際関係	「江戸時代は本当に鎖国か」2008.3.12 朝日

4 成果と課題

(1) 配布した新聞記事

「時事問題」について、「新聞を読む習慣がないので時事問題の知識が乏しい。意外と知らないことが多い」として、この記事の中から自分が興味をもったことや新しく学べたことをまとめてみたいとする学生や「授業の導入や展開の事例として活用したい」など時事問題を教材と

して活用することを考えた学生もいた。

「解説記事」について、「知らない用語がやさしく分かりやすく解説されている」として、授業で利用しようとしていた。「普段から時事問題をチェックし、記事の意味を理解する必要がある」と感想を述べた。

「歴史関連の新聞記事」では、「教師はどの単元でこの記事教材として活用できるか、絶え

ずアンテナを高く張っておかなければならない」。新聞を読む際には、「授業に使える記事はないか目配りすることが大切」として、毎日新聞に触れることを心がけている学生もいた。

「教育関連の新聞記事」では、「学校教育の現状や課題、現在の学校で起きていることを学ぶことができた」と新聞記事の有用性を確認できた学生もいた。

最後に、生徒を指導する教師として、「教師自ら新聞から情報を獲得し、学び続ける必要がある」ことを強く認識した学生がいた。また、新聞とネットを比較し「新聞は自分の興味のない分野も取り上げられており、あらゆる分野の情報を一覧するのに適している」と新聞の特色を再認識した学生もいた。

（2）模擬授業における新聞記事の活用

学生の多くは新聞を購読していないし、スクラップもしていないので、大学図書館の新聞社のデータベースを活用して教材になる新聞記事をさがしていた。データベースとしては、朝日新聞の「聞蔵Ⅱ」、読売新聞の「ヨミダス歴史館」、毎日新聞の「毎索」などを活用していた。このデータベースは地方版も集録されており、地方版の記事を探した学生もいた。

なお、立教大学池袋図書館では、上記新聞のデータベースのほか新聞実物と縮刷版も読むことができる。全国紙及び地方紙（原紙）あわせて27紙、縮刷版は4種ある。地方紙は、千葉日報、中国新聞、中日新聞、愛媛新聞、福島民報、福島民友、北海道新聞、北國新聞、岩手日報、河北新報、神奈川新聞、神戸新聞、新潟日報、西日本新聞、沖縄タイムス、琉球新報、埼玉新聞、信濃毎日新聞、東海新報、上毛新聞、下野新聞

（ABC順）の21紙と他大学と比べ極めて充実している。

（3）模擬授業における新聞記事活用の課題

模擬授業のテーマに関連する新聞記事を探しても、その記事をどのように授業に活用するかは難しい。授業の導入に使用する際には、次の展開とうまくつながるかが課題であり、具体例として取り上げる際には、授業の流れにどう位置づけるか検討しなければならない。

また、新聞記事をそのまま配布するのではなく、生徒に注目してほしい箇所に傍線を引くとか、枠で囲むなどの工夫も必要である。このような授業実践で、新聞離れの進む学生が少しでもネットでなく新聞に触れ、社会科や地理歴史科、公民科の授業の教材として新聞記事が活用されれば、ほぼ目的が達成できたことになる。

なお、公職選挙法の改正で選挙権年齢が18歳以上となり、高等学校では主権者教育が盛んに行われている。模擬投票などの授業実践は、生徒に選挙や政治に興味・関心を持たせ若者の投票率向上にも寄与すると思われる。一方、新聞を読んでいる人の投票率は、86～87%と高くなっている⁷。政治に興味・関心を持たせるには、生徒や学生に新聞を読ませることも一つの方法であり、この新聞記事を活用した授業も投票率向上に寄与することが期待される。

引用文献

¹ 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編」（平成22年6月15日教育出版）p122

² 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 公民編」（平成22年6月15日教育出版）p59

- ³ 文部科学省「中学校学習指導要領解説 社会編」（平成 20 年 9 月 25 日 日本文教出版）p127
- ⁴ NHK 放送文化研究所「2015 年国民生活時間調査報告書」（平成 28 年 2 月 NHK 放送文化研究所）
- ⁵ 慶應塾生新聞会「慶應塾生新聞」（2009 年 6 月 10 日第 444 号）
- ⁶ 第 52 回学生生活実態調査の概要報告（2017 年 2 月 23 日 全国大学生生活協同組合連合会）2016 年 10 ～ 11 月に全国の国公立および私立大学の学部学生を対象に回収数 10155（30 大学・回収率 33.1%）
- ⁷ 全国紙や地方紙（2016 年 7 月は 19 紙、2017 年 10 月は 15 紙）が実施した共同調査で、2016 年 7 月の参院選において新聞購読者で投票した人は 86.1%で、実際の投票率 54.7%と比べて 30 ポイント以上高かった。2017 年 10 月の衆院選においては 86.8%で、実際の 53.7%と比べて、こちらも 30 ポイント以上高かった。この共同調査は、新聞広告共通調査プラットフォーム「J-MONITOR」が実施。回答者は、2016 年は 5305 人、2017 年は 6060 人であった。（「朝日新聞」2016 年 8 月 31 日朝刊、「毎日新聞」2017 年 11 月 22 日朝刊）